

卒業おめでとうスタート

新潟県立がんセンター新潟
病院 内科(消化器内科)

丹羽 佑輔
(平成26年卒)



世界中が「コロナ禍」で生活が激変する中、皆さんも学生生活が大きく変わり、大きく変わりました。卒業おめでとう。まずは無事に卒業を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

私は関東の出身で千葉大学を卒業後、縁あって佐渡で研修し、新潟県立がんセンター新潟病院に勤務しています。佐渡での研修はとても楽しい2年間でした。何も知らない・できないところから、1日ごとに知っているところが増えていくことは嬉しく、楽しかったです。新しいスポーツ

卒業おめでとう

糸魚川総合病院
腎・透析内科

山崎 翔子
(平成28年卒)



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆様は現在在勤務しているのは、糸魚川総合病院という地域の病院です。前任地とは病棟の規模が異なる上に、患者さんの多くが高齢者です。専攻科の知識を使うことは決して多くはなく、誤嚥性肺炎や認知症など

です。まだまだ未熟な私が皆さんにお話できることは少ないですが、自分が最近感じていることを通して何かお伝えできれば、と思います(恐縮ですが、自省の側面もあること、ご理解いただければと思います)。

新潟大学腎臓病内科へ入局し、昨年度は長岡赤十字病院で1年間勤務しました。専攻医1年目ということもあり、多くの知識や技術を学ばせてもらいました。ダイナミックな治療も多く、少ないながらも自分の成長を実感し、すごく楽しい一年でした。そして現

だ模索中です。コロナ禍で様々なことが一変しましたが、それを除いても医療の現場は非常に早いスピードで変化しています。私が今まさに感じている変化としては、血液検査で遺伝子調べてそれをとりに治療法を選択する、というような日がこれほど早く来るとは思っていません

「初期研修は楽しい」と言いますが、その先はより充実した楽しさがあると思います。初期研修より、3年目はもっと充実して、さらにその先はより...と、その時々で「今が一番」と思えるのが理想だと思います。一方で、変わりゆく環境の中でいつも「今が一番」と思えるためには、何年か先の将来の「やりたいこと」も常に探していく必要があると思います。



ご卒業おめでとうございます。卒業生の皆様におかれましては、学生生活を終え、新しい環境でスタートを切ることになります。研修医としてのスタートは、大変な時期だと思います。研修医としてのスタートは、大変な時期だと思います。研修医としてのスタートは、大変な時期だと思います。

私もまだ、長い医師人生を少し歩み始めたばかりですが、先輩の皆さんがより充実した医師人生になるよう、微力ながらお手伝いしていきたいと思っています。気軽に声をかけ下さいね。

研修医として心がけるべきこと

新潟市市民病院
内科専攻医(消化器内科)

木村 究
(平成29年卒)



卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。初期研修医としての新生活に期待も不安もあるでしょう。色々と悩ましい時期かと思

は期待も不安もあるでしょう。色々と悩ましい時期かと思ます。これから初期研修医として働く皆様は、研修医としての心構えを身につけておくべきです。研修医としての心構えを身につけておくべきです。研修医としての心構えを身につけておくべきです。

の習得に追われて、無機質な作業になっていくこともあったと反省しています。それを一旦立ち止まらせてくれたこの環境には非常に感謝しています。その気持ちを基盤にして、どんな医療を提供する

ご卒業おめでとうございます

長岡中央総合病院 研修医

田代 啓二郎
(令和2年卒)



ご卒業おめでとうございます。卒業生の皆様におかれましては、学生生活を終え、新しい環境でスタートを切ることになります。研修医としてのスタートは、大変な時期だと思います。研修医としてのスタートは、大変な時期だと思います。

私もまだ、長い医師人生を少し歩み始めたばかりですが、先輩の皆さんがより充実した医師人生になるよう、微力ながらお手伝いしていきたいと思っています。気軽に声をかけ下さいね。

ご卒業おめでとうございます

上越総合病院 研修医

橋本 紗和
(令和3年卒)



卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。卒業生の皆様におかれましては、学生生活を終え、新しい環境でスタートを切ることになります。研修医としてのスタートは、大変な時期だと思います。研修医としてのスタートは、大変な時期だと思います。

私もまだ、長い医師人生を少し歩み始めたばかりですが、先輩の皆さんがより充実した医師人生になるよう、微力ながらお手伝いしていきたいと思っています。気軽に声をかけ下さいね。

が。私も含め、これから医師の道を進む皆さんにとって、勉強し様々な知識・技術を習得することは最優先だと思っています。それが無いと何も始まらないからです。しかし、

編集後記

卒業おめでとうございます。巣立ちの時を迎え、わくわくしたり、ドキドキしたり、ちょっと不安になったりと、様々な気持ちが入り混じった毎日を送っていらっしゃると思います。今号は、そんなみなさんに先輩方からのエールをお届けします。年季の入った重鎮から研修医1年目のルーキーまで、多種多様な先輩方のメッセージには、実際に裏打ちされたこれからのヒントが詰まっています。医師のスタート地点に立ちたいみなさんにとって、素敵な道標となりますように。(関)